

あなたと議会

トピック

**高校生との意見交換会を開催
…若者の本音を聴いてきました!**

市政を問う
7～8月定例会の結果

2019
205号
9月25日発行



鹿沼の夏の風物詩「どろんこフェスティバル」

高校生の本音を聴いてきました!

特集

高校生との意見交換会

3年前の選挙権年齢引き下げを機に始まり、毎年恒例となったこの会ですが…今年は、引き下げ後2回目となる参議院選挙、そして初の市議会議員選挙を控えているということで、「生徒たちにとって、少しでも投票に行くという動機付けになってほしい!」という、いつもよりも強い願いをもって臨みました。

「かめまの良いところ・悪いところ」「就職・進学に当たってこれが心配」「市議会議員に望むこと」の3つをテーマに、今の高校生の本音トークに応えてきました。テーマごとの多かった意見ランキングと、高校生ならではのストレートな思いをご紹介します。



鹿沼高校 / 参加議員から挨拶

【令和元年度開催実績】

開催日	学校名	参加生徒数
7月 8日(月)	鹿沼高等学校	41人
7月 8日(月)	鹿沼東高等学校	34人
7月10日(水)	鹿沼商工高等学校	28人
7月18日(木)	鹿沼南高等学校	36人

鹿沼の良いところ

1位 自然が豊か!

● 緑が多く、川がきれいで、空気がおいしい。
● 自然豊かで、散歩していて気持ちがいい。

2位 イベントが楽しい!

● 秋まつりやさつき祭りなど、市外から人が集まるイベントがある。
● コネスコ無形文化遺産の秋まつりは学ぶべき伝統があり、なおかつ盛り上がる。

● 高校生が関われるイベントがあるので、楽しく取り組める。



鹿沼商工高校 / ○×クイズ

3位 人どうしのつながりがある☆

● 地域の人たちが温かくて親切。
● 笑顔と挨拶がある。
● 人と人とのネットワークで、様々な地域活動が取り組まれている。

その他の意見

● いちご推しがいい。分かりやすく、市民が受け入れやすい。
● 図書館やふらっとなど、学習スペースの確保に力を入れてくれるのでありがたい。

● 便利すぎず不便すぎず、トカイナカでちょうどよい。古い町並みが残っている反面、ある程度交通手段もあるので、どこにでも出掛けやすい。

● バスの料金が安く、ほぼ時間通りに来る。
● 坂道が多いので、トレーニングに適している。

鹿沼の悪いところ

● 1位 道路や交通環境が悪い。
● 道路が傷んでいてデコボコで狭い。

● 歩道部分が狭く、車とすれ違うのにギリギリで非常に危険。



鹿沼南高校 / ○×クイズ

● 見通しの悪い道にカーブミラーがない、少ない、角度が悪い。

● 横断歩道を渡るうとする人がいても、車が止まらない。

● 車や自転車の運転マナーが悪い。歩いていてヒヤッとするのがよくある。

2位 商業施設が少ない

● 駅周辺に何もなく、暗くて寂れている。

● 若者が遊ぶ場所がない。

● 子どもから高齢者まで、みんなで行ける施設をつくってほしい。

3位 交通網が十分でない

● 電車やバスの本数が少なく、通勤通学に不便。
● 市街地から離れた地域の交通手段が確保されていない。

その他の意見

● 街灯がなさ過ぎて夜道が危ない。おかげで事故った。

● 空き家が多くて不気味。

● 学習できる施設が少ない。閉館時間が早い。

● 駅にヤンキーがたまりやすい。

● 伝統芸能に対する若者の興味関心が低い。



鹿沼東高校 / 意見交換

就職に心配なこと

1位 就職先が少ない

- 入りたい就職先がない。
- 鹿沼で働こうと思っても、市内の就職先が少なそう。
- 就職情報が少ない。学校で説明会等をやってほしい。

その他の意見

- 就職先の情報が少なく、ブラッパじゃないか不安。
- 就職希望先の社会保障がしっかりしているか。
- SNS世代なので、会社内の人間関係・上下関係についていけるか心配。
- A-の発達で、選べる職業が狭まりそう。
- 酪農・畜産農家の求人が少ない。



鹿沼東高校 / 意見交換

進学に心配なこと

1位 経済面の負担

- 学費や生活費が心配。行政の支援制度を充実させてほしい。
- 塾に通いたいけど、負担が大きいため自分で頑張っている。

2位 近くに大学がない

- 鹿沼が大好きなのに、鹿沼から出ないと進学できない。
- 市内から通うとなると、行ける大学が限られる。

その他の意見

- 駅の近くに学習できるスペースがほしい。
- ほかの市などの高校と比較して、鹿沼の高校生の学力がどうなのかが気になる。
- 進学で市外に転出したきりで戻ってこず、鹿沼の伝統文化を受け継ぐ人が少なくなってしまう。



鹿沼商工高校 / 意見発表

議員に望むこと

- どんな活動をしているのか、もっと話を聞ける機会を増やしてほしい。
- 議会で決まったことや議論していることをどうすれば知ることができるのか。広報活動にもっと力を入れるべき。
- 医療費助成の対象を高校生まで拡大してほしい。
- 仕事や育児など、若い世代に対する支援の充実化
- 女性や若者で議員になる人が増えてほしい。



鹿沼高校 / 意見発表

意見交換会の感想

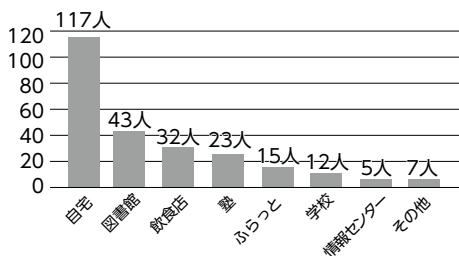
- 意見交換会を開いて終わりではなく、今回出た意見をいつでも実現できるように、今後の活動に役立ててほしい。
- 話してみると、鹿沼の良いところ・悪いところがいろいろあることに気づいた。自分のまちのために、投票に行ってみようと思った。
- 議員を身近に感じられたので、良い機会だった。今日のことを周りに話してみようと思う。
- 市議会の積極的に意見を取り入れようとする姿勢に感心した。私も鹿沼を良くするために、できることに協力したい。
- 自分が住む鹿沼のことをじっくり考えることができ、良い機会になった。
- ○×クイズの景品の数を増やしてほしい。



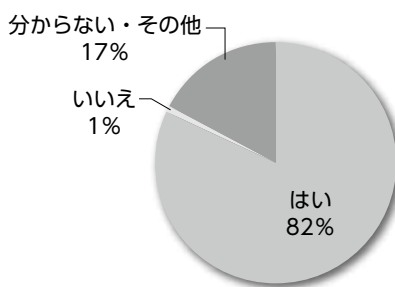
鹿沼南高校 / 意見交換

参加者アンケート結果

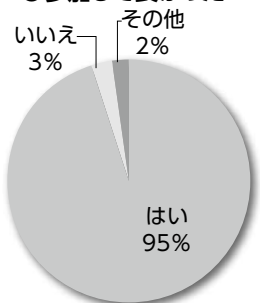
●放課後の学習はどこで？



●今後選挙に行こうと思う？



●参加して良かった？





阿部 秀実 議員



国民健康保険税について伺う

質 問

子どもの分の均等割を減免して、子育てにかかる経済的負担を軽減することについて伺う。

答 弁(市民部長)
被保険者の負担軽減や国保財政の健全化なども考慮の上、検討しているところです。

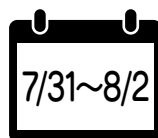
国保税の均等割は地方税法の規定により、子どもを含めた被保険者全てに課税するものとされています。しかし、所得の低い世帯には、均等割と世帯ごとに賦課される平等割を合わせて最大7割軽減する制度があり、子どもを含む被保険者の人数が多いほど軽減割合も多くなる仕

市政を問う



← 議員紹介はこちらからどうぞ。
各質問議員のQRコードからは、それぞれの一般質問の動画をご覧いただけます。

第3回定例会で12人が登壇
鹿沼市政について質問をしました。

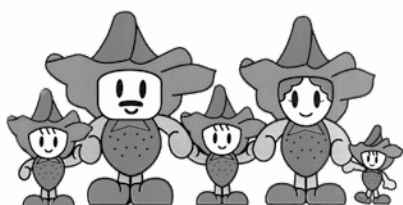


組みとなっています。

子育てに係る経済的負担を軽減することの必要性はもちろん感じており、そのため、全国知事会及び全国市長会を通じて、「子どもの国保税均等割の軽減措置については、国の責任において制度を構築する」よう要望しているところであり、また、それと合わせて、本市としては、本市の国保財政の健全化を図っていく中で、医療給付と被保険者の税負担、基金の活用のバランスを最大限考慮することを前提に、子どもの均等割の減免について検討しているところです。

◆その他の質問事項

- 住宅リフォーム助成事業について
- いきいきかぬま長寿計画(鹿沼市高齢者総合福祉計画)について
- まちの駅新・鹿沼宿について
- 鹿沼運動公園の整備について





鈴木 敏雄 議員



インバウンド(訪日外国人旅行)の
推進について伺う

質 問

①本市への滞在状況②観光客への対応
③今後の推進について伺う。

答 弁(市長)

受入態勢の整備や情報発信により、
インバウンドを推進していきます。

①本市が平成27年度に実施した調査で
は、鹿沼市に滞在した外国人は月平均40人
でした。

②市内観光スポットへの誘導サインは、
英語併記のほか、ピクトグラムを使用し、
視覚的にわかりやすくしているところで
す。また、観光パンフレットは英語版と
韓国語版、鹿沼秋まつりのパンフレット
は英語版、韓国語版、中国語版を用意し

ています。一方で、最大の課題は観光施
設やイベント会場における外国語対応で
すが、7月29日に「栃木県多言語コールセ
ンター」が開設されました。これは、24時
間体制で10言語への通訳や翻訳サービ
スを電話で行うものであり、県内の観光施
設や事業所等が登録して無料でサービ
スを受けることができます。これを最大限
活用してもらえよう、市内事業者に登
録を推奨していきたいと考えています。
また、まちの駅新・鹿沼宿と屋台のまち
中央公園には、74言語対応の自動翻訳機
を導入し、秋まつりなどのイベント時に
は屋外の観光案内所等でスムーズな対応
ができるよう、準備を進めています。

③訪日外国人旅行者は、平成30年には
3千万人を超えました。観光庁の分析で
は、訪日外国人旅行者の61.4%がリピー
ターで、訪日回数が多いほど地方を訪れ
る割合が高くなる傾向があるとのこと
です。海外からの誘客で最も重要なのは、ま
ず鹿沼市を知ってもらうことですが、本
市には秋まつりのほかにも魅力的な観光資源
がたくさんあります。今後、ターゲットの
絞り込みなどを検討し、さらなる受入体
制の整備や誘客促進のための情報発信を
していくことで、インバウンドを推進し
ていきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 肝炎ウイルス検診について
- 空き家対策について
- 地域の夢実現事業について



島田 一衛 議員



高齢者支援について伺う

質 問

歩道脇に高齢者が休憩するベンチ等を
設置することについて伺う。

答 弁(保健福祉部長、都市建設部長)

歩道に隣接する私有地等を利用でき
る可能性があれば、地域と相談
させていただきます。

本市における現状としましては、ポ
ケットパークや一部の許可を得たバス停
などにベンチ等が設置されています。歩
道へのベンチの設置については、道路管
理者である県や市などが道路附属物とし
て設置する場合と、道路管理者が定める
「道路占用規則」に基づき、設置者が許可

を得た上で設置する場合があります。設
置する際の条件及び課題としましては、
「歩行者等の安全で快適な通行空間の確
保のため、歩行者の多い道路においては
3.5メートル以上、その他の道路において
は2メートル以上の歩道幅員の余地を確
保すること」や「ベンチは原則路面に固定
すること」などが挙げられます。それら
のことから、特に街中は、歩道の幅員が
狭いところが多く、なかなか難しいとい
うのが実態としてあります。

道路ではなく、隣接する私有地等で協
力が得られそうなスペースがあれば、自
治会など地域と連携を取りながら、検討
したいと考えています。また、今後、歩
道整備を計画する際には、バス停付近や
駅周辺において、高齢者を含めた利用形
態を想定し、ベンチ等の設置スペースの
確保が可能なか、検討していきたいと思
っています。

◆その他の質問事項

- 大人の健康維持について
- 災害備蓄品について
- マイナンバーカードを活用した取り組
みについて

鹿沼市の新たな防災情報システムの導入 について伺う



質 問

①配信する情報②旧栗野町の防災行政無線との比較③住民への周知について伺う。

答 弁(総務部長)

新しいシステムでは、災害情報の即時配信や受信側での情報再確認ができるようになります。

①新たな防災情報システムは、防災関連機器と連動し、自動でスマートフォン専用アプリや専用の個別受信機へ防災情報を配信することを基本としています。機能が拡張することにより、停電、断水、行方不明者、不審者、選挙関連の行政情報についても配信することは可能です。

本システムは、令和3年度から運用を開始する予定です。運用開始当初は、防災情報に限定した配信を考えていますが、防災行政無線が使用停止となる令和4年11月末日までに、行政情報も配信できるよう対応したいと考えています。

②現在の旧栗野町にある防災行政無線の状況ですが、定時刻のチャイムと下校時間のお知らせについては、タイマーを設置して流しています。防災関係の情報については、危機管理課の職員が出向いて放送を開始するという形で運用をしています。新たな情報システムは、危機管理課の事務室から災害情報を発信することが可能ですので、即時性があるという優れた利点があります。また、新たなシステムでは、スマートフォンから音声と文字で情

報を配信することができますようになります。

③地域からも依頼をいただいていますので、8月の下旬から下旬にかけて、地区ごとに説明会を開き、今回のシステムの導入の変更点について、丁寧に説明をさせていただきます。

◆その他の質問事項

○パワーハラコメント・セクシャルハラコメントについて

○新庁舎整備事業について

子ども、若者に関する「育ち」の環境について伺う



質 問

子ども総合サポートセンターへの専門指導者の配置について伺う。

答 弁(子ども未来部長)

相談員の負担軽減の面でも有効です。調査研究したいと考えています。

子ども総合サポートセンターは、発達に支援が必要な子どもを初め、児童虐待、ひきこもり、不登校など子どもに関する各種相談業務を集約することで、乳幼児期から就学・就労まで一貫した支援を提供し、切れ目なくトータルでサポートする体制を構築するために設置したものであり、それぞれ専門分野のスタッフを配置して

支援に当たっています。平成31年4月1日現在、臨床心理士1名、保健師1名、保育士1名、指導主事2名、家庭相談員4名、母子・父子自立支援員兼婦人相談員1名、青少年相談員2名、教育相談専門員13名を配置しており、さらにおおば園には、保育士12名、言語聴覚士1名を配置しています。

各相談員への助言や指導に関しては、相談員はそれぞれ様々な悩みを抱えながら対応に当たっているため、週1回受理会議を開き、情報交換を行うとともに、臨床心理士や保健師を初め、ほかの相談員から助言を受けられる機会を設けています。さらに、各相談員は個別に専門員の意見を聴取し、ケースによっては家庭訪問等の際に同行してもらっています。

◆その他の質問事項

○環境美化について

○交通機関について



館野 裕昭 議員



南押原地区の振興策について伺う

質 問

今後の計画について伺う。

答 弁(都市建設部長、水道部長、市民

部長、経済部長、こども未来部

長、ほか)

磯山神社に誘導案内するための効果的な看板を設置します。

【都市建設部】現在市道0365号線の整備を実施するとともに、一級河川黒川に架かる新田橋の架設を計画しています。既に黒川左岸では道路築造工事を実施しており、今年度は橋梁部の工事着手、黒川右岸側での道路築造を予定しています。

【水道部】今年度は約3千600メートルの水道管布設を予定しています。また、新規要

鹿沼市の景観について伺う

関口 正一 議員



質 問

①国道293号沿いのごみステーションの整備状況②街路樹の害虫対策③富士山公園南側斜面への植栽について伺う。

答 弁(環境部長、都市建設部長)——
ごみステーションからの飛散を防ぐため、ネットで覆うなど市民への周知徹底を図ります。

①平成31年3月31日現在、国道293号沿いのごみステーション設置数は116カ所であり、そのうち収納ストッカーを設置しているものは19カ所で、約16%となっています。維持管理については利用者の自主管理を基本としており、費用負担や設置場所などは利用者間で実情に応じた形で適

正な管理をお願いしています。景観については、市が定めたルールに基づき、ごみを整然と並べ、ごみが飛散しないようネットなどで覆うことなど、市民に対し周知徹底を図っていきます。

②街路樹の管理については、年間を通して業務委託していますが、緊急的で小規模な害虫防除については職員が作業する場合があります。枯れた街路樹の補植については、現場の環境によっては元に戻すことが適さない場合もあることから、維持管理のしやすさを十分に考慮し、地域の皆様の意向を伺いながら、対応を検討していきたくと考えています。

③富士山公園の南側は、道路整備の際に丘陵地部分を削ってできた法面であることから、法面の安定と保護のため、法枠

望地区の大和田町において、早期加入を図るための地元説明会を行いたいと考えています。なお、来年度以降計画されている北赤塚町内の国道352号の改良工事に合わせ、配水管布設を実施する予定です。

【市民部】地域の夢実現事業として始めたカフェや貸自転車事業を展開する「友遊館」事業が、地域で継続して運営できるように支援していきます。

【経済部】農道整備について、亀和田地区で、今年度と来年度で計750メートルを実施予定です。また、磯山神社について、観光ネットワーク計画において案内誘導する観光スポットの一つに位置づけられていることでもありますので、今後、地元及び関係者の皆さんと相談しながら、国道等からの誘導に効果的な看板を設置していきたく

工や緑化植生がなされています。これらの対策は、植物を繁茂させ、表面を覆うことで表流水による浸食や風化を防止するとともに、周辺の環境と調和のとれた自然環境の形成を図るものです。現状の法面にサツキやツツジなどを植えようとした場合、勾配が急であり、生育環境にも適さないと考えられることから、現実的には難しいと考えています。

◆その他の質問事項

○鹿沼市景観条例について

○小藪川について

○市道について

と考えています。

【こども未来部】南保育園では、現在41名の児童が入園しています。今後も丁寧な保育サービスの提供に努めるとともに、適宜施設の修繕等を行っていきたくと考えています。本年度はエアコン修繕を予定しています。また、南押原地区では、子ども食堂開設を検討しているようなので、運営主体や実施方法等が決めれば、速やかに支援をしていきたくと考えています。

◆その他の質問事項

○事業承継について



市田 登 議員



放課後児童健全育成事業について伺う

質 問

学童クラブについて、①利用者数と利用率②入会できない児童の状況③小学4年生以上への受入拡大について伺う。

答 弁(子ども未来部長)

ハード・ソフト両面から対応を検討し、将来的には希望児童全員が入会できるようにしたい。

①本年5月1日現在の小学1年生の利用者数は408人で利用率が52.2%、2年生が333人で48.5%、3年生が334人で41.5%、4年生が176人で21.4%、5年生が81人で9.6%、6年生が31人で3.4%であり、全学年の利用者数は1千363人で利用率は28.1%です。

②放課後児童健全育成事業の対象児童は、留守家庭の小学6年生までですが、施設の規模等の事情により、受け入れができない場合があります。小学3年生以下の児童については、基本的に希望者全員の受け入れができていますが、その一方で小学4年生以上で入会ができなかった児童は8施設で33人おり、入会希望者が定員を上回ったクラブでは、低学年児童を優先して受け入れていきます。

③本年度の学童保育の利用者数は、前年度から小学校の児童数が大きく減っているにもかかわらず、19人増加と利用率は上がっています。特に、市の中心部に近いクラブでは、利用希望者が多いものの、地域によっては将来的に国の補助要件である「利用者数10人」を下回ることが予想されるク

◆その他の質問事項

○鹿沼産材の利用促進について

○都市計画道路について

○新庁舎整備について



増 淵 靖弘 議員



公共事業のあり方について伺う

質 問

①道路等(市道0004号線、サンエコ自然の森サッカー場駐車場)整備費の増額②街路灯の増設について伺う。

答 弁(都市建設部長)

今後、道路整備の際に計画的に道路照明を設置していきます。

①今回の7月補正において、道路整備事業費及び都市計画道路整備事業費として1億5千525万7千円(歩道整備分含む)、道路長寿命化対策事業費として茂呂地内の市道0017号線の舗装改修工事費を1億4千万円、また市道の修繕料として3千500万円の増額補正を予定しています。市道の整備のうち、市道

0004号線は、「サンエコ自然の森サッカー場」西側からアクセスする道路であり、約730メートルの区間について舗装新設を計画しています。昨年度は測量等を実施し、今年度は関係地権者と協議を進めているところです。「サンエコ自然の森サッカー場」については、平成18年にオープンし、サッカー場の北側に約6千平方メートル、約220台分の駐車場を設置しています。駐車場は未舗装のため、毎年指定管理者が砂利の補充などを行っています。雨天時には部分的に水たまりができてしまう状況です。舗装化につきましては、必要性を十分に検証し、スポーツ施設全体の中で、優先順位を見極めつつ、検討していきたいと考えています。今後とも市道や歩道の整備及び改修、修繕などを計画的に推進す

◆その他の質問事項

○佐藤市長の政治姿勢と政治戦略について

○市庁舎整備について

ることにより、道路環境の改善に努めていきます。

②道路照明は、夜間、トンネル等の明るさが急変する箇所において、道路状況、交通状況を的確に把握するための良好な視界を確保し、道路交通の安全、円滑を図ることを目的として、「道路照明施設設置基準」により設置しています。設置場所は、交差点や橋梁、交通上特に危険な場所などです。今後も、道路整備の際には計画的に設置し、道路交通の安全確保に努めていきます。



佐藤 誠 議員



キャッシュレス決済について伺う

質問

①本市内の普及状況②普及拡大のための取り組みについて伺う。

答 弁(経済部長)

急速に普及拡大している中で、関係団体と連携しながら、その利便性やリスクなどの正確な情報を周知していきます。

キャッシュレス決済の推進は、実店舗の無人化や省力化、支払データの利活用による消費の利便性向上、消費の活性化など、様々なメリットが期待されており、国では2027年までにキャッシュレス決済比率を4割程度とすることを目指しています。近年、様々なキャッシュレス決済の手法が

質問

①中心市街地におけるまちづくりファンの活用②中山間地における「アルベルゴ・デイフーズ(分散型宿泊施設)」について伺う。

答 弁(総務部長、都市建設部長)

まちづくりの有効な手法と考えられるので、調査研究を進めます。

リノベーションまちづくりとは、一定のエリアにおいて空き家等の遊休不動産や公共空間を再生することにより、カフェや店舗などの魅力的なコンテンツを新たに創造することで、地域内ビジネスやコミュニティを生み出し、エリアの価値を高め、地域の再生を行うまちづくり手法です。「栃木県まちなか元気会議」において、平成30年度から

リノベーションまちづくりについて伺う

普及啓発等に重点的に取り組んでおり、本市でも研修会やワークショップ等へ積極的に参加しています。

①地域金融機関と「一般財団法人民間都市開発推進機構」が連携し、そこに自治体や地域住民も参加するなどして結成した「まちづくりファンド」からの投資を通じて、リノベーションまちづくりを進めるとい

民間資金を活用したまちづくりが行われている地域があります。都市のスポンジ化対策としても、この手法は有効と考えられることから、今後は、全国的な先進事例の調査研究をしていきたいと考えています。

②「アルベルゴ・デイフーズ」は、過疎化した地域の伝統的な建物を宿泊施設に活用し、集落を再生するイタリア発祥の取り組みです。国内では、平成30年に岡山県の

登場し、急速に普及しています。

①本市の詳細な状況は把握していませんが、QRコードを使って決済する「PayPay(ペイペイ)」に対応している中小・小規模事業者数は約200店舗です。

②これまでは、鹿沼商工会議所や栗野商工会において、決済の仕組みやメリットなどを紹介するセミナーなどが開催されてきました。店舗等におけるキャッシュレス決済導入の課題として、「決済に対応する支払端末の導入や決済システムの運用・維持にコストがかかること」、「店舗への入金が現金よりも遅くなること」で、資金繰りの調整が必要になることなどが考えられます。これらに対応するため、国は中小・小規模事業者向けに、キャッシュレスでの支払いに対してポイント還元を実施します。

また、栃木県では、総務省が推進する統一QRコード決済システムの導入を促進します。店舗の負担が比較的軽く導入できると言われており、県内約2千店への導入を想定しています。本市においては、今後、店舗及び消費者に対し、各種キャッシュレス決済サービスの利便性だけでなく、リスク等についても正しく理解してもらえよう、最新の情報を検証し、広報かぬまやホームページ等を使って、また、鹿沼商工会議所や栗野商工会、市内金融機関等とも連携して、周知を図っていきます。

矢掛町において、町が江戸から明治期の古民家を改修し、地域の宿泊施設や料理店などが一帯となって取り組んでいる事例があります。現在、本市ではこの構想は持っていませんが、今後のまちづくりにおける手法の一つとして、地域づくりのリーダーとなるような地域おこし協力隊の活用も含め、研究していきたいと考えています。

◆その他の質問事項

- 自転車活用のまちづくりについて
- 主権者教育の充実について
- 市職員の働き方改革について

◆その他の質問事項

- 消費増税について
- 市政世論調査について
- 住みよさランキングについて



鹿沼市公共施設等総合管理計画について
伺う



人事

人事案件が議決されました。(議案第58~74号)

人権擁護委員(候補者)

- 矢口 有良(やぐち ありよし・松原)
- 大貫 良明(おおぬき よしあき・下沢)
- 大塚 壱久(おおつか かずひさ・口栗野)

用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、各市町村に設置される非常勤職で、法務大臣が委嘱する民間のボランティア。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。議会の意見を聞いて、市長が法務大臣に対し候補者を推薦する。任期は3年。

鹿沼市公平委員会委員

- 大貫 林一郎(おおぬき りんいちろう・見野)

用語解説「公平委員会委員」

公平委員会は、地方公共団体職員の身分及び権利を保障するために市町村等に設置される公正・中立な第三者の人事機関で、3人の委員で構成される合議制の機関。委員は、人格が高潔で地方自治の本旨及び民主的で能率的な事務処理に理解があり、かつ人事行政に関し識見を有する者のうちから、議会の同意を得て市長が選任する。

鹿沼市粕尾財産区管理会委員

- 高田 浩(たかだ ひろし・下粕尾)
- 白石 賢一(しろいし けんいち・下粕尾)
- 小杉 国夫(こすぎ くにお・中粕尾)
- 下妻 守夫(しもつま もりお・中粕尾)
- 神山 昭(かみやま あきら・上粕尾)
- 浅野 裕(あさの ゆたか・上粕尾)

鹿沼市清洲財産区管理会委員

- 関口 眞弘(せきぐち まさひろ・久野)
- 牧野 茂雄(まきの しげお・久野)
- 宇塚 一雄(うづか かずお・深程)
- 橋本 達也(はしもと たつや・深程)
- 鈴木 一夫(すずき かずお・北半田)
- 小保方 勉(おぼかた つとむ・北半田)

用語解説「財産区管理会委員」

財産区とは、市町村及び特別区の一部で財産を有し、又は公の施設を設けているものがある場合に、その財産又は公の施設の管理・処分に関し、特別地方公共団体として法人格を与えられたもの。委員は、財産区の区域内に3か月以上住所を有する者で、市議会議員の被選挙権を有する者のうちから議会の同意を得て市長が選任する。

鹿沼市教育委員会委員

- 宮田 里枝(みやた さとえ・鳥居跡町)

用語解説「教育委員会委員」

教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した行政機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定される。委員は、人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命する。

質 問
①旧久我小学校の利活用②サウンディング型市場調査について伺う。
答 弁(財務部長)
旧久我小の利活用についてはサウンディング型市場調査を行いました。今後、事業化を推進していきます。

①閉校施設の利活用は、計画を推進するための重点課題に位置づけています。旧久我小学校については、閉校前の昨年度中から、民間活力導入により利活用が図られるよう、広報活動を行ってきました。今年度は、改めてサウンディング型市場調査を実施し、上都賀郡市医師会附属看護学校の移転を含め、施設全体が利活用されるよう

アイデアを募集したところです。本年5月28日に開催した現地説明会には、8団体が参加し、7月8日から12日の間、9団体と意見交換を行い、現在調査結果を取りまとめているところです。今後の進め方としては、具体的な提案が出された場合、鹿沼市公共施設等民間提案制度に基づく検討を行い、採用となった場合には事業化に向けた協議を進めていく予定です。

②サウンディング型市場調査は、行政が事業内容や公募条件等を決定する前に、民間事業者と『対話』をし、効果的な事業となるよう条件整理を行うための手法です。本市にとつては、市場性の把握、活用アイデアの収集、民間事業者が参入しやすい条件設定を行えること、民間事業者にとつても市の意向を早期に確認でき、要望を事前に

◆その他の質問事項
○水源地域振興拠点施設整備事業(旧ハーパーセンター)について
○図書館の諸課題について
○都市計画道路3・4・21号について

伝えられるというメリットがあるため、今後も積極的に実施していきたいと考えています。

賛否の分かれた議案等【可決】

平成29年度決算

認定1 平成30年度鹿沼市水道事業会計決算の認定について
平成30年度の水道事業は、建設改良事業において拡張工事として1万1,300.9メートルの配水管を新設し、改良工事として4,202.6メートルの出水不良管布設替等及び武子地区における増圧ポンプ場の更新を行い、建設改良費総額では9億6,008万3,022円の支出でした。また、年度末の給水人口は8万8,418人で前年度比0.2パーセントの減となり、年間総給水量は1,043万6,973立方メートルで前年度比0.4パーセントの減となりました。この結果、決算においては、収益的収支で当年度純利益1億7,894万48円でした。

剰余金処分

議案50 平成30年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
未処分利益剰余金3億5,010万5,119円のうち6千万円を減債積立金に、6千万円を利益積立金に、5,894万48円を建設改良積立金にそれぞれ積み立てるとともに、1億7,116万5,071円を資本金に組み入れるためのものです。

令和元年度補正予算

議案51 令和元年度鹿沼市一般会計補正予算(第1号)について
予算総額を396億9,732万3千円とするものです。

財産貸付

議案52 財産の貸付について
民間活力の導入による公共施設の利活用を推進するため、旧西大芦小学校の土地及び建物を令和元年9月1日から令和12年3月31日までの間、無償で貸し付けるためのものです。

計画変更

議案53 辺地に係る総合整備計画の変更について
入・中栗野辺地及び上・中粕尾辺地に係る総合整備計画並びに西大芦辺地及び上久我辺地に係る総合整備計画について、辺地における計画事業の変更を行うためのものです。

物品購入契約

議案54 物品購入契約の締結について
栗野分署水槽付消防ポンプ自動車購入に係る指名競争入札を行った結果、ジーエムいちばら工業株式会社が5,291万円で落札したため、本契約を締結するためのものです。

条例改正

議案55 鹿沼市印鑑条例の一部改正について
住民基本台帳法施行令の一部改正により住民票に旧姓の記載が可能とされることに伴い、印鑑登録における登録事項に旧姓を追加するほか、性別の登録の廃止等を行うためのものです。

議案57 鹿沼市火災予防条例の一部改正について
防火対象物の利用者の火災被害の軽減及び防火対象物への適正な消防用設備等の設置の推進に資するため、消防法令に関する重大な違反のある防火対象物の公表制度を設けるためのものです。

議案56 鹿沼市手数料条例の一部改正について
地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所等の設置の許可申請に対する審査手数料の額を改定するためのものです。



賛成

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄
【自由民主党】増淵靖弘・横尾武男
【経世会】石川さやか・館野裕昭・小島 実
【無所属市民クラブ】加藤美智子・大貫武男・船生哲夫
【親 悠 会】市田 登・谷中恵子・関口正一
【自民党クラブ】鈴木 毅・津久井健吉・鰐原一男・赤坂日出男
【無所属】佐藤 誠
【民主クラブ】島田一衛・大貫 毅

反対

【日本共産党】阿部秀実



賛成

不参加

【公明党】荒井正行
鈴木敏雄
【自由民主党】増淵靖弘
横尾武男
【経世会】石川さやか
館野裕昭
小島 実

【無所属市民クラブ】
加藤美智子
大貫武男
船生哲夫

【親 悠 会】市田 登
谷中恵子
関口正一

【自民党クラブ】津久井健吉
赤坂日出男

【日本共産党】阿部秀実

【無 所 属】佐藤 誠
【民主クラブ】島田一衛
大貫 毅

【自民党クラブ】鈴木毅
鰐原一男

全議員が賛成した議案【可決】

人事

議案58~60 人権擁護委員候補者の推薦について

議案61 鹿沼市公平委員会委員の選任について

議案62~67 鹿沼市粕尾財産区管理会委員の選任について

議案68~73 鹿沼市清洲財産区管理会委員の選任について

議案74 鹿沼市教育委員会委員の任命について

(議案58~74については、10ページをご覧ください。)



議員提出議案

議員案4 鹿沼市議会委員会条例の一部改正について
第3条の3第2項に定める議会運営委員会の委員の定数について、「9人」を「12人」に改めるものです。



議会からの お知らせ

2つの特別委員会の2年間の調査結果を報告しました

■議会改革特別委員会

平成29年12月18日の委員会設置以降、16回にわたって委員会を開催し、5件の付託事件について調査・研究を重ねてきた結果を、8月9日の本会議において下記のとおり議長へ報告しました。今回の報告内容を踏まえ、今後も引き続き「開かれた議会、活動する議会」を目指して、改革を進めていきます。

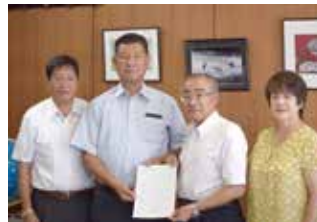
- 改革1 議員定数について……市民の意見を代表する意思決定機関としての役割、執行機関に対する監視・評価、各種委員会の運営などの活動に必要な議員数として、現状維持の24人とする。
- 改革2 政務活動費と議員報酬について……議員のなり手不足などの課題解消のため、さらに時間をかけて慎重に議論する。
- 改革3 議会改革度向上について……「常任委員会議事録の公開」と「視察報告書のホームページ上での公開」に取り組む。
- 改革4 視察報告書の上議員提出について……代表者が作成し、参加議員全員が確認した上で議長に提出する。
- 改革5 その他の改革……委員会等会議の可視化について継続して検討する。タブレット端末を導入する。…ほか。



■かめま魅力向上特別委員会

平成29年12月18日の委員会設置以降、9回にわたって委員会を開催しました。近年多発する大規模な自然災害を受け、「災害に強いまち」となることがかめまの魅力向上につながることを、そのためには、災害時にも議会の機能を保持し、市民の生命・財産・安全を守るために迅速に行動できる議会となる必要があるとの結論に達し、調査・研究の結果を「鹿沼市議会災害時業務継続計画(案)」としてまとめ、議長に報告しました。

- ・計画の目的…災害発生後、迅速かつ円滑に議会機能の回復を図るため、情報を一元的に集約・管理する体制の構築や議員の行動の在り方を中心に定める。
- ・情報の収集及び提供…鹿沼市議会災害対策支援本部を設置し、市から提供される各種災害情報、議員の安否等に関する情報、市に対する要望等を一元的に集約・管理する。



地域や若者の要望を市に届けました

昨年度開催した地区別議会報告会と高校生との意見交換会においていただいた様々な意見・要望の中から課題を決め、政策調査・研究委員会において議論・調査を重ね、執行部へ提言しました。

- 提言1 農業用水路改修について……国庫補助事業の地元負担の一部を市が支援する。市事業の原材料支給の上限を20万円に増額する。ほか
- 提言2 JR鹿沼駅前について……ロータリーの樹木剪定、街路灯の電球交換など定期的に管理する。駅北側踏切付近に優先的に防犯灯を設置する。ほか



常任委員会の1年間の調査結果を報告しました

昨年9月に「議会閉会中の継続調査」として付託されて以降、4つの常任委員会がそれぞれ独自に調査テーマを掲げ、関連業者・施設等への現地調査、関係機関や市執行部等からの意見聴取、討議研究を重ねてきました。このたび調査結果がまとまったことから、8月9日の本会議において各委員長から議長へ報告するとともに、提言として市執行部へ提出しました。

■総務常任委員会

「新庁舎整備における防災行政の調査・研究及び推進について」

- 提言1 災害対策本部へのモニター等通信設備の設置
- 提言2 中山間地域等のコミュニティセンターへの発電機設置
- 提言3 災害時対応に係るコミュニティセンター職員への初期教育
- 提言4 避難所における備蓄目標の達成
- 提言5 避難所への夜間照明設置
- 提言6 河川内構築物の撤去及び新設中止「営業戦略(シティブロモーション)について」
- 提言1 市民との意見交換の場の設置
- 提言2 インナーブランディングによる市民参加型のプロモーション
- 提言3 アウターブランディング取り組みの強化
- 提言4 専用ウェブサイトの立ち上げ



■環境経済常任委員会

「花木センターの更なる充実強化について」

- 提言1 子どもと家族が楽しめる施設への転換
- 提言2 「花と緑のテーマパーク」化に向けた施設整備
- 提言3 敷地内回遊を促すPRの工夫
- 提言4 購買率を上げるための物販強化
- 提言5 入場料導入の検討

■文教民生常任委員会

「ICT教育について」

- 提言1 プログラミング教育体制の構築
- 提言2 ICT環境の構築
- 提言3 プログラミング教員の養成
- 提言4 継続的な学びの環境構築

■建設水道常任委員会

「市民に愛される特色ある公園づくりについて」

- 提言1 住民参加による公園づくり
- 提言2 公園設備の充実
- 提言3 栃木県上都賀農業振興事務所跡地の活用



表紙の写真は

8月25日、緑豊かな自然に囲まれた田んぼで、すっかり本市の夏の風物詩となった第6回「かめまどろんこフェスティバル」が開催されました。ソフトバレーボールやフラッグレース、宝探しなどの熱戦が繰り広げられ、約400人の参加者が一心に泥まみれを楽しみました。